

# NEWS & TOPICS

グループ各社の注目ニュースをお届けします

2022年  
1月-4月

## CLOSE UP 1

社会・環境活動

セブン&アイHLDGS.

### グループ各社による「令和4年ウクライナ 難民緊急支援募金」を実施

セブン&アイHLDGS.ではウクライナで避難を強いられている難民への緊急支援を実施しました。セブン&アイHLDGS.からは国連WFP協会を通じて、国際連合世界食糧計画(国連WFP)へ約100万米ドルを寄付しました。お渡しする支援金はウクライナ国内、および近隣諸国へ避難している方々に対して実施する緊急食料支援に活用される予定です。

また、国内のセブン&アイグループ各社では、3月9日から4月30日まで店頭やWEBを通じたお客様からの募金活動を行いました。一刻も早くお届けするため、3月末日までにお預かりした募金約1億4107万円を、国連UNHCR協会を通じて国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)にお渡ししました。北米でセブン・イレブンを展開する7-Eleven, Inc.でも、3月末から店頭募金などを実施しました。

3月9日



【実施期間】3月9日より順次開始、4月30日まで(計53日間)  
【実施店舗】全国のセブン&アイグループ各店にて実施

セブン・イレブン	イトーヨーカドー
ヨークベニマル	ヨークマート
ヨークフーズ	ヨークプライス
コンフォートマーケット	ザ・ガーデン自由が丘
そごう	西武
アカチャンホンポ	デニーズ
ロフト	バーニーズ ニューヨーク

※一部店舗では実施していない場合がございます

## CLOSE UP 2

企業情報

セブン・イレブン・ジャパン / イトーヨーカ堂

### 植物由来の素材を配合したカトラリーなどを導入し 石油由来のプラスチック使用量を削減

4月1日



セブン・イレブン・ジャパンは4月より施行された「プラスチック資源循環促進法」の対応として植物由来の素材を30%配合した環境配慮型カトラリーを導入しました。4月1日から首都圏約500店舗へ導入を始め、今夏までに全国のセブン・イレブんに拡大します。この取り組みにより従来の石油由来プラスチック30%削減と、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながります。

イトーヨーカ堂ではプラスチック対策として、鮮魚などで使用する容器をバイオマスやリサイクルPET素材への切り替えや、精肉などではノントレイ包材の採用を推進しています。また、レジ袋代金の収益相当額を店舗が所在する行政機関などに全額寄付しました。4月1日からは全国の店舗にて、環境配慮型カトラリーを順次導入。割り箸の包材もプラスチック製から紙製に変更し、年間約9トンのプラスチック削減を見込んでいます。

バイオマスフィルム素材に切り替えたイトーヨーカドーで販売する商品の一例。



セブン・イレブンの環境配慮型カトラリー。

社会・環境活動

服の循環型サービス「CLOSETOCLOSET」

1月18日

セブロン・イレブン・ジャパンは、1月18日〜31日の期間、西武渋谷店にて服を売らないアパレルブランドenergy closetによる、「CLOSETOCLOSET」のポップアップショップを開催しました。Z世代の三和沙友里氏が代表を務めるenergy closetは、服の循環をテーマにしたポップアップイベントを行っており、百貨店では初めての開催となりました。これは入場チケットを事前購入いただき、当日不要な服3着をお持ちいただき、会場内の古着から3着を持ち帰ることができるとのことです。

会場には、この取り組みに賛同したセブロン・イレブン・ジャパンの従業員などから事前に集めた服も展開。服に対する想いやおすすめのコーディネートなどを記入した、コメントカードをつけて展示しました。今後も環境に配慮した百貨店を目指します。



社会・環境活動

ダイバーシティ&インクルージョンを推進する女性幹部によるディスカッション

3月1日

日本、アメリカ、中国のセブロン・イレブン女性幹部がオンラインで初めて集まり、女性活躍推進についてディスカッションを実施しました。ダイバーシティ&インクルージョンに関する課題や、女性がさらに活躍できる環境づくりに向けた取り組みを共有しました。今後もグローバルでの連携を強化しながら社員一人ひとりが活躍できる企業を目指していきます。



新サービス

Apple Pay Secureが利用可能に

3月8日

セブロン・イレブンアプリ（iOS版）で「Apple Pay Secure」の利用が開始され、既存のサービスに加え、新たにお支払い・チャージまでがiPhone一つで可能になりました。これからもお客様の利便性を高めるため、さらなるサービスや特典の拡充に努めていきます。

企業情報

セブロン・イレブン ネットショップニ実施店舗拡大

2月17日

セブロン・イレブン・ジャパンは、お客様のスマートフォンでご注文いただいた商品をご指定の場所まで最短30分でお届けするサービス「セブロン・イレブン ネットショップ」のテスト実施店舗を、北海道、東京都、広島県それぞれの一部エリアで約1200店に拡大しました。2月25日からサービス名称を「NOW」に変更し、今後もお客様の利便性向上に貢献していきます。

社会・環境活動

「学校とコミュニティの防災」プロジェクトへの募金を贈呈

2月21日

イトーヨーカ堂は、2021年9月1日から約3カ月間、公益財団法人ブラン・インターナショナル・ジャパンの「学校とコミュニティの防災」プロジェクトを支援する募金活動を実施しました。アジアの中でもとくに災害リスクの高いバングラデシュとネパールで、学校を中心に災害や災害に起因するさまざまな脅威から身を守るスキルを高められるよう支援しています。



社会・環境活動

ビジネスシャツリニューアルにより「脱プラスチック」を実現

3月8日

イトーヨーカ堂は、セブロン&アイグループ共通の日用品・衣料品のプライベートブランド商品「セブロンプレミアムライフスタイル」から発売している「超形態安定シャツ」をリニューアルし、3月8日から全国のイトーヨーカドー100店舗で発売しました。

今回のリニューアルでビジネスシャツに付属するパッケージ袋を除く、プラスチック資材をファイバー紙に変更し、「脱プラスチック」を実現。年間でペットボトル20万本相当のプラスチック削減見込みとなります。また、高い形態安定性を維持しながら、素材を見直し綿100%ならではの肌触りをさらに改善、新たに吸汗速乾機能と抗菌防臭機能に加え、部屋干しにも対応し洗濯時の利便性がアップしました。

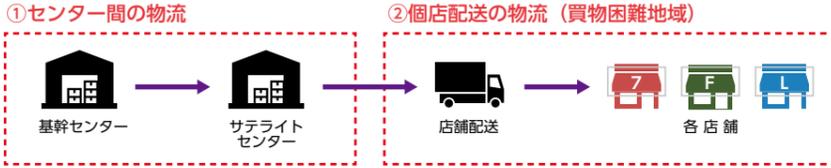


社会・環境活動

コンビニ3社で共同物流の実証実験開始

2月21日

セブロン・イレブン・ジャパンは、内閣府が推進する「戦略的イノベーションプログラム」の一環として、2月に北海道函館エリアにてファミリーマート、ローソンと連携し、各社の物流センターならびに店舗へのチェーン横断による共同物流の実証実験を実施。昨年度、東京都内の湾岸エリアで同様の実証実験を行いました。今回は店舗密度が都市部よりも低い地方部において、「①コンビニの配送センター間の物流の共同化」と「②遠隔地店舗（買物困難地域）の配送の共同化」の実証実験を行いました。この取り組みは物流を効率化することで買物困難者対策、フードマイレージの削減、運行トラック数の減少、温暖化効果ガス排出量の削減を目的としています。



社会・環境活動

グループで取り組むSDGs推進月間

3月11日

セブロン&アイHLDSは、2022年3月をグループで取り組むSDGs推進月間とし、お客様と一緒に暮らしている中でできる環境貢献アクションや情報発信を実施しました。

3月11日から26日の期間でセブロン・イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂などグループ7社の店舗でライトダウンを実施。また、3月8日の国際女性デーに合わせ、女性を応援するための商品やサービスをWEBの特設サイトで紹介したほか、セブロンプレミアム向上委員会のWEBサイトでは食品ロス削減と健康に配慮した「賢者のレシピ」を紹介しました。これからもお客様と一緒にSDGsに貢献する取り組みを提案していきます。



受賞

「Happy WOMAN AWARD 2022 for SDGs」企業部門賞を受賞

2月25日

赤ちゃん本舗の「with akachanhonpo」は、女性が応援する商品やサービスの展開・活躍推進に寄与した企業に贈られる「HAPPY WOMAN AWARD 2022 for SDGs」の企業部門賞を受賞しました。

「with akachanhonpo」とは妊娠・出産・子育ての課題や困りごとをいろいろな人や企業と「いっしょに」解決しようという取り組みです。子育ての専門家である助産師と気軽に接点を持てるコミュニケーションの機会づくりや、食品宅配サービスOisixオイシックスと食に関わるお悩みを解決するサービスを提供するなど、「心とからだ」「食」「知育」などさまざまな課題に向き合い、解決する提案をしています。



助産師による妊娠・出産に役立つ動画の配信など、妊娠・出産・子育て情報をお届けしています。

[with akachanhonpo] HPIはこちら



受賞

認知症サポーター育成で特別賞を受賞

3月24日

イトーヨーカ堂は、全従業員の4割、約1万1000名の認知症サポーターを育成し、全国キャラバン・メイト連絡協議会が主催する「認知症サポーターキャラバン」において、特別賞を受賞しました。

社会・環境活動

本社工場に太陽光パネル発電開始

3月25日

アイワイフーズ（埼玉県加須市）では、昨年12月より本社工場の屋上に768枚の太陽光パネルを設置し、発電を開始しました。これにより年間142トンのCO2排出量削減を見込んでいます。



OPEN情報

- 3月4日(金) コスメロフトグランスタ東京店
3月11日(金) 春日井ロフト
3月18日(金) コスメロフト本厚木ミロード店
3月18日(金) マルト富山ロフト
3月25日(金) 加古川ロフト